

御槇小学校だより

校訓

みがく まなぶ きたえる

教育目標

確かな学力と豊かな心を持ち、地域を愛するたくましい児童の育成



10月号

令和7年10月22日

令和7年度秋季大運動会に御来観いただき、ありがとうございました。子供たちは運動会に向けて、日々一生懸命練習してきました。練習を頑張っている子供たちの姿を見るたびに心が動かされました。多くの方に見ていただき、温かい拍手をいただいたことで、多くの子供が達成感を味わったことと思います。普段は感じる事ができない緊張感の中で自分なりの力を出しきること、これこそが貴重な経験です。ありがとうございました。

秋は、「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」「食欲の秋」「学習の秋？」・・・様々な「実りの秋」とも言われています。学校では、秋は学校行事の季節であり、子供たちの頑張りや成長をみられる大切な季節です。陸上大会、運動会、音楽会や学習発表会など盛りだくさんの行事があります。1つ1つの行事や学習に頑張って取り組んで、大きく成長して欲しいと思っています。

11月の行事予定

日	曜日	行 事 等	日	曜日	行 事 等
3	月	● 文化の日	20	木	えひめいじめSTOPデイ plus (5・6年)
4	火	体重測定 ジブンミカタプログラム (5・6年) タイピングコンテスト (～11日)	21	金	津島町文化祭展示 (～23日)
5	水	児童生徒をまもり育てる日	22	土	学習発表会前日準備
6	木	津島町小中学校連合音楽会	23	日	勤労感謝の日 学習発表会 ●
9	日	津島町文化祭芸能祭 御槇地区球技大会	24	月	振替休日
10	月	愛媛県小学校陸上運動記録会	25	火	繰替休業日
11	火	JTE来校	26	水	清満小学校との交流会 クラブ活動 (学校かくれんぼ)
12	水	委員会活動	27	木	ALT来校
13	木	ALT来校	28	金	繰替休業日
18	火	JTE来校	29	土	御槇クロッケー大会 (～30日)

9/17・24

事前復興教育プロジェクト

事前復興教育プロジェクトを2時間行いました。1時間は、宇和島市の防災強化アドバイザーである山口賢司さん、2時間目は、(株)芙蓉コンサルタント太宰誠さんに来校していただきました。「最悪を想定して、最善を尽くす」という言葉を忘れないように、日々の防災意識を高めたいと思います。

10/14

稲刈り 収穫を喜びました！

稲が大きく育ちました。田んぼを管理していただいた保護者の方から、鎌の使い方を教えていただきました。最初は難しい様子でしたが、保護者の方と一緒にどんどん刈っていきました。子供たちは、稲の生長を実感し、米作りの大変さも感じる事ができました。貴重な体験の場を提供していただいたHさん、ありがとうございました。



10/11

宇和島市小学校陸上運動記録会 ベスト記録更新！！

9月の暑い時季から、3～6年生は毎日放課後の陸上練習頑張りました。一生懸命練習に打ち込み、着実に力を伸ばしました。出場選手全員が自己ベストを更新できました。みんな、おめでとう！6年谷川百合佳さんが、女子60mハードルで3位に入賞し、県大会出場を果たしました。11月10日（月）ニンジニアスタジアムで行われる県大会に向け、もう一段階レベルアップしましょう。



10/18

秋季大運動会 笑顔と元気を届けました！



絶好の秋晴れの下、御模地区秋季大運動会を開催することができました。今年の運動会のテーマは、2年生男子が考えてくれた「力いっぱい 笑顔と元気を とどけよう！」でした。一生懸命の姿で地域や保護者の方を元気にしようと、暑い時季から一生懸命練習に取り組みました。子供たちの力を出し切った笑顔が印象的でした。地域の方も保護者の方も子供たちもみんなで運動会を楽しみました。準備や片付け等も含め、いろいろな面での御協力、本当にありがとうございました。



日野のつぶやき！ 仏様の指 陸上大会・運動会・音楽会 背中をそっと押しています！



「仏様の指」という話があります。

「あるとき、仏様が道ばたに立っていらっしゃった。すると、一人の男が荷物をいっぱい積んだ荷車を引いて通りかかった。しかし、大変なぬかるみにはまってしまい、懸命に引いても荷車は動かない。汗びしょりになって男は苦しんでいた。その様子をしばらく見ていらっしゃった仏様は、ちょっと指でその車にお触れになった。その瞬間、荷車はすっとぬかるみからぬけ、からからと男は荷車を引いていった。」

国語教育の大家である大村はまさんはこのように述べています。「もし、仏様の力によってその荷車が引き抜けたことを男が知ったら、男は仏様に感謝したでしょう。けれども、それでは男の、生き抜く力は何分の一に減っただろうと思いました。子供たちの学びの場面で、格闘している姿を見守りながら、さりげなくそっと背中を押し『自分の力』でやり遂げさせていく。そうすることによって、子供は自信をつけ、たとえ困難に出会っても立ち向かおうとし、本当に自分でできるようになると思うのです。」「チャレンジしたい」「活躍したい」という思いはどの子どももっています。困難で立ち止まっているときに、大人はそっと背中を押して、子供たちの「努力すればできる！」という自己肯定感や自己有用感を育てていきたいと思います。そして、成功したときにはおおいに褒め、子供たちに自信と喜びを味わってほしいと思います。ぜひ、地域の皆様や御家庭と歩調を合わせ、子供たちの意欲を高めていきたいと思います。教師になって33年。背中をそっと押すことができる教師でありたいと思っています。